

〈解答〉

- ① (1) 高気圧 エ 低気圧 イ (完答)  
 (2) 1008hPa (単位がないものは不可)  
 (3) オ  
 (4) オホーツク海 [気団]  
 (5) ① ア ② ア (完答)  
 (6) 右図



配点 各1点 6点満点

〈解説〉

- ① (1) 高気圧の中心付近には下降気流が生じていて、海面上(地表)では、下降気流によって上空から降下してきた空気が、高気圧の中心から周囲に向かって、北半球では時計回りに流れ出している。一方、低気圧の中心付近には上昇気流が生じていて、海面上(地表)では、空気が周囲から低気圧の中心に向かって、北半球では反時計回りに流れ込んでいます。
- (2) 等圧線は、1000 hPaの基準を太線として引き、4 hPaごとに細線で引く。また、20 hPaごとに太線にする。したがって、大陸上に1000 hPa、北海道の東の海上に1020 hPaの等圧線があることから考える。なお、1 図中の気圧を表す数値は、いずれも高気圧や低気圧の中心付近のものである。
- (3) 「高温で湿潤である」という特徴がある気団は小笠原気団(2 図の気団D)で、この気団がしだいに勢力を強めつつある時期Pは、6月から7月にかけての梅雨期である。梅雨期には、低温で湿潤なオホーツク海気団(2 図の気団B)と、高温で湿潤な小笠原気団の勢力がほぼつり合うため、これらの気団が接する境界にできた前線(停滞前線)はほとんど動かない。前線の上空には、南から流れ込んだ暖気による上昇気流ができて雲が発生し、雨が降り続くことが多くなる。なお、2 図の気団Aは寒冷で乾燥したシベリア気団、Cは温暖で乾燥した揚子江気団である。
- (4) (3)の解説より、「低温で湿潤である」という特徴がある方の気団は、オホーツク海気団である。
- (5) 1 図で、中心付近の気圧が1004 hPaの低気圧の中心からほぼ南東には温暖前線が、

ほぼ南西には寒冷前線がのびているが、Yで示した地点から東側では、停滞前線（前線記号は省略されている）に変わっている。停滞前線には、秋雨前線などいろいろなよび名のものがあり、時期Pは梅雨期であることから、この時期の停滞前線を、特に梅雨前線という。

- (6) 前線の南にある小笠原気団からの暖気が北に向かって流れていて、北にあるオホーツク海気団からの寒気が南に向かって流れているので、前線を表す3図の横線の上側に温暖前線の記号を、下側に寒冷前線の記号をかく。なお、温暖前線、寒冷前線、および、寒冷前線が温暖前線に追いついてできる閉塞前線は、それぞれ右の図のような前線記号で表す。

